

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）  
小児がん拠点病院・連携病院の QI（Quality Indicators）を評価指標として  
がん対策推進基本計画の進捗管理を行う小児がん医療体制整備のための研究  
分担研究報告書

「テキストマイニングを用いた小児がん拠点病院がん相談支援センターにおける  
小児がん相談内容の分析」

研究分担者  
滝田順子

研究要旨

本研究は小児がん拠点病院のがん相談支援センターにおける小児がんの子どもおよび家族からの相談内容を分析し、相談支援の現状と課題を明らかにすることを目的とした。2022年4月から2024年3月までの2年間に、京都大学医学部附属病院がん相談支援センターで受けた小児がんに関する相談記録857件を対象にテキストマイニングを実施した。分析の結果、子どもは友人関係や学校生活、家族は治療や社会保障に関する相談が多く、特に「学校」は両者に共通する主要なテーマであった。また、子どもからの相談が少ない現状が明らかとなり、今後は子どもにとって相談しやすい環境の整備が重要であると考えられた。

A. 研究目的

本研究は、厚生労働行政が推進する「小児がん対策」の一環として、2013年に全国に整備された小児がん拠点病院がん相談支援センターにおける、小児がんの子ども・家族を対象とした相談支援の実態と課題を明らかにすることを目的とする。がん対策推進基本計画において、小児がん患者・家族の療養環境の整備は重要な課題であり、相談支援はその中核をなす。成人がん患者に関しては、これまでに相談内容の分析が行われてきたが、小児がんに関する相談内容は明らかにされていない。本研究では、相談支援の質的向上や、がん対策推進基本計画における「小児がん対策」の効果的な進捗管理・評価に資するエビデンスを提供することを目指した。

B. 研究方法

対象期間は2022年4月から2024年3月

までの2年間とし、京都大学医学部附属病院のがん相談支援センターにおける、小児がんの子ども・家族から受けた相談記録857件（実数149名）を分析対象とした。

相談記録に基づき、以下の項目を分析した。

1. 相談者属性（本人、親、その他）、子どもの年齢、がん種
2. 相談方法（対面・電話）、相談時間
3. 相談内容：大量の文章データから有用な情報やパターンを自動的に抽出・分析する技術であるテキストマイニング（KH Coder Version 3.00）を用いて、共起ネットワーク分析を実施した

（倫理面への配慮）

本研究は京都大学医学部附属病院倫理審査委員会の承認（R4448、23-045）を得て実施した。相談内容は個人が特定されな

いよう個人情報適切に匿名化し、内容の本質に影響を与えない範囲で加工した。研究データは研究者管理下の施錠保管庫にて厳重に管理した。また、病院ホームページに情報公開文書を掲示し、相談者が研究の実施を認知できる体制を整えた。

### C. 研究結果

期間中の相談件数は857件、相談者は149名であった。相談者は患者本人20.2%、親79.0%、その他0.8%であり、相談の約93%が対面で実施された。平均相談時間は23.6分であった。

テキストマイニングの結果、子どもの相談では「学校」「友達」「自分」など、学校生活や友人関係に関連する語が多く抽出された。家族からの相談では「本人」「学校」「治療」など、病気・治療や学校生活に関する内容が多かった。共起ネットワーク分析では、子どもは友人関係や学校生活、家族は治療や退院後の生活、社会保障に関する課題が中心であることが明らかとなった。

### D. 考察

本研究により、小児がん患者とその家族は、病気や治療によって生じる社会生活（就学・就労・対人関係など）の変化に大きな不安や課題を抱えており、がん相談支援センターは、医学的支援だけでなく、これら社会生活支援における重要な役割を果たしていることが示された。特に子どもからの相談が少ない現状が課題として浮上し、今後は、子どもが相談しやすい雰囲気づくりや相談の認知向上が求めら

れる。

### E. 結論

小児がんの子ども・家族の相談は、学校や治療に起因する社会生活上の問題が多く、相談支援体制は、心理社会的側面への対応をさらに強化する必要がある。今後の相談支援の質の向上や小児がん医療体制整備、QI指標による進捗管理に活用できる基礎資料となった。

### F. 健康危険情報

（分担研究報告書には記入せずに、総括研究報告書にまとめて記入）

### G. 研究発表

#### 1. 論文発表

現在、論文発表に向けて準備中

#### 2. 学会発表

第22回日本小児がん看護学会  
学術集会（2024年12月15日）

「テキストマイニングを用いた  
小児がん拠点病院がん相談支援  
センターにおける小児がん相談  
内容の分析」

発表者：川勝和子、岩井直子、加藤格、滝田順子

### H. 知的財産権の出願・登録状況

（予定を含む）

#### 1. 特許取得

なし

#### 2. 実用新案登録

なし

#### 3. その他

なし